

特 集／平成21年度のまちづくりと予算  
町政スポット／町議会3月定例会、副町長人事、介護保険料の改正  
山形県との人事交流職員紹介、観光振興推進員を設置 ほか  
カメラさんぽ／大谷小学校大沼分校閉校記念式典  
まちの話題／2009日本カヌーフリースタイル選手権大会、町内小中学校で入学式 ほか

春の農作業始まる

昔ながらのワラの温床でたばこの苗を栽培  
(4月7日；栗木沢 遠藤秀明さん)

# あさひまち

広報

2009年4月号  
No. 629



# まちづくりに全力投球 平成21年度施政方針

平成21年度は、第5次朝日町総合発展計画の実施2年目。  
町民が町の元気、活力を実感できる施策を展開するにあたり、

○人材育成、地域の力  
○暮らしを守る産業の力  
○基盤整備、定住の力

の3つの力を柱とし、

交流を促進し、町民との協働により、町の活力を高めることに重点をおき、町政運営に取り組んでまいります。



## 町の将来を展望し、 「産業力」の充実を図る

朝日町長 鈴木 浩幸

今日の社会は非常に厳しい経済情勢に直面し、大きな変革・転換が求められています。この厳しい状況を乗り越えるためには、朝日町に住む人、働く人全ての人の知恵と力を結集しなければなりません。

そのためには、町民の皆様、そして行政が互いに信頼という絆でつながり、ともに行動をおこしていくことが重要です。このことを基本にし、今年度の町政運営を行ってまいりたいと考えております。

私はこれまで子育て環境の充実という視点を大切にし、「定住力」を充実するということで社会基盤の整備を中心に進めてまいりました。

そういった「定住力」の分野につきましても、まだまだ不十分なところがありますが、町が元気になるためには、「産業力」の充実も欠かせません。現在は百年に一度という経済金融危機と言われていますが、このような時代だからこそ直面する課題への対応はもちろんのこと、将来を展望した「産業力」の充実を図らなければなりません。そのためには、朝日町がもつ資源、人材という最大の資源の力が発揮されるとともに、様々な資源を活かし、農業の振興、起業化、そして総合産業という視点からの交流観光にいかしていくことが今後重要となると考えております。

さらに、町をつくるのは人材です。このため、町の一番の礎は人材という「地域力」です。この力を高めることなしには、町づくりは進みません。そして、町の将来を担うのは子どもたちです。子どもたちが朝日町を愛し、健全に育つことが朝日町の将来をつくることそのものではないかと考えております。

平成21年度は、こうした視点を大切にし、町政運営にあたりたいと考えております。

そして、常に申し上げていることですが、地域の人々誰もが、自分たちの地域に誇りを持ち、さらには、町外の方からも「あの町はすばらしい」「あの町に行ってみよう」、そう思われるような自信と誇りに満ちた、住みたい、ずっと住み続けたい魅力あるまちづくりを目指して、町民の皆様と力を合わせ、さらなる「やる気」と「挑戦」を心に誓い、全力で取り組んでまいります。

※本文は、町長が3月定例議会において、今年度の町政運営の基本方針や政策について所信を示した「施政方針演説」の要旨をまとめたものです。



## 第5次朝日町総合発展計画の確実な推進に向けて

### 平成21年度一般会計当初予算

# 46億4,500万円

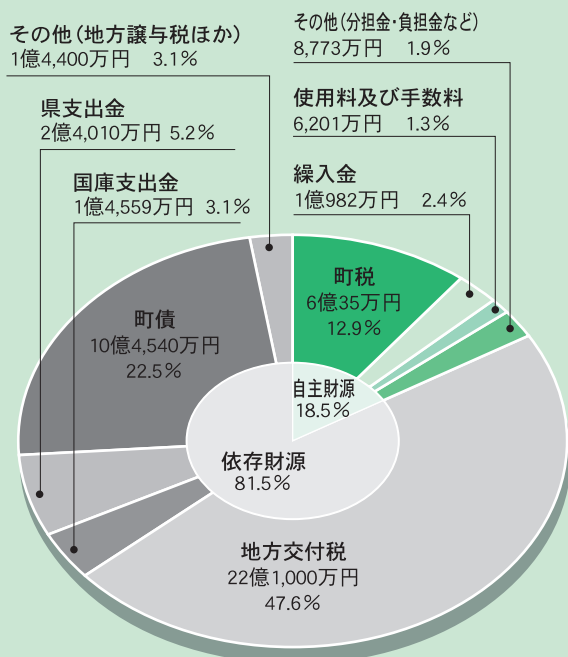
平成21年度の当初予算が決まりました。

一般会計の総額は46億4,500万円で、昨年度に比べると14.3%、5億8,000万円増加しました。

限られた財源を効率的に配分し、第5次朝日町総合発展計画の確実な推進とあわせて、世界的な経済金融危機にあたって、町民生活と地域経済を守るため、重点事業に集中投入させた予算編成となりました。

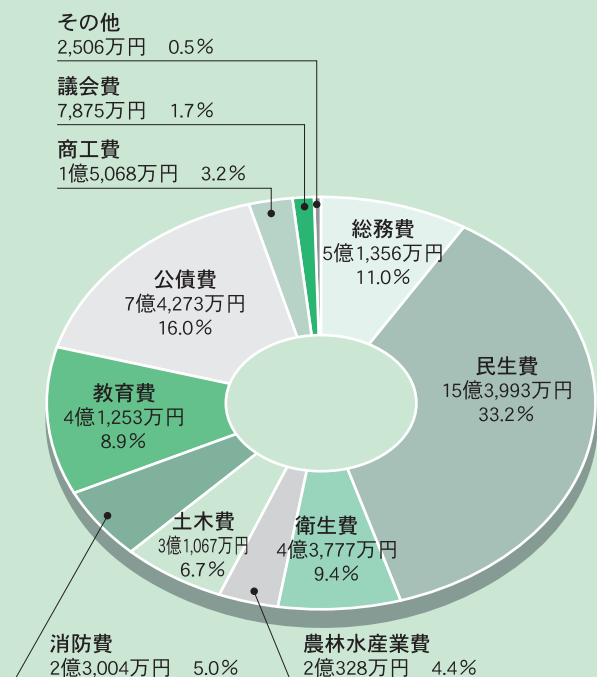
#### 歳入

46億4,500万円



#### 歳出

46億4,500万円



## 限りある予算の有効活用 平成21年度の主要な施策

### ①子育て支援拠点施設整備事業



役場より建設予定地を望む

**6億2,856万円**  
老朽化した町立保育園（3園）を、1園に統合し、子育て支援センターを併設した施設を建設する

### ②高品質りんご生産緊急対策事業 558万円

奨励品種（ファーストレディなど）・新生産技術の導入推進

### ③地域提案型交付金事業 1,285万円

地域（地区）の自発的な取り組みを支援（地域提案型交付金、総合雪対策事業）

### ④観光振興事業 1,250万円

朝日町の魅力を発信し、観光客を受け入れる体制を整備する（観光推進員配置、交流観光推進事業委託、観光PRのホームページ作成、観光協会の機能強化への補助）

### ⑤町民の足確保対策事業（高校生通学支援）



**770万円**

高校通学に困らない交通手段の確保（H19～バス定期券購入に対する助成、H20～山形市直行バスの運行）

### ⑥乳児医療給付費 1,513万円

子育て支援のため、6歳未満児の医療費を完全無料化する

### ⑦木材利用住宅建築奨励事業 450万円

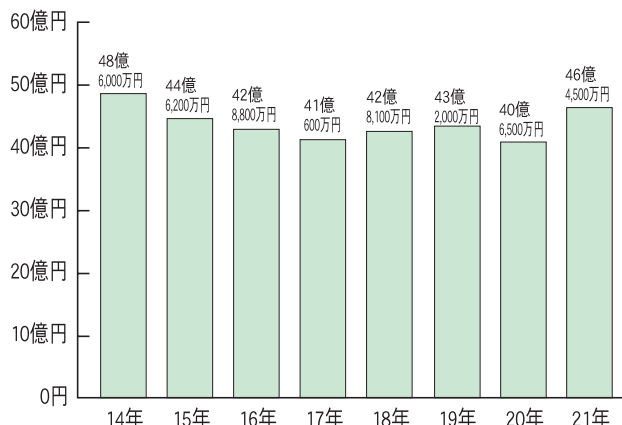


町内の建築事業者の施工、または、町内製材事業者から木材を購入し、国産材を利用した住宅建築（増改築含む）に対し30万円限度に補助する。H21～耐震化改修を対象に加える。※H20年度（限度額15万円）から倍増

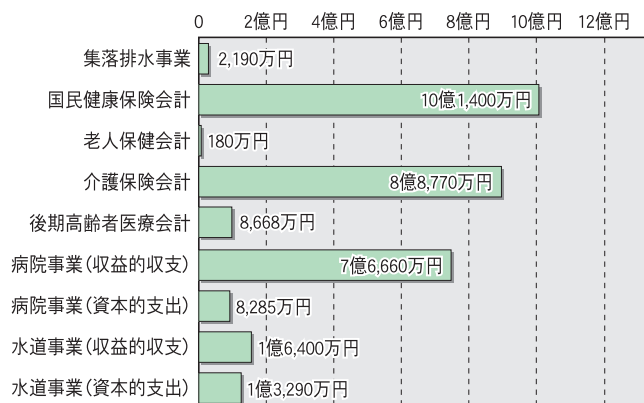
### ⑧産業創造推進事業 1,605万円

地域資源を活かした産業創造への支援（朝日町産業創造推進機構への補助、新事業経営安定対策補助、開業支援利子補給、等）

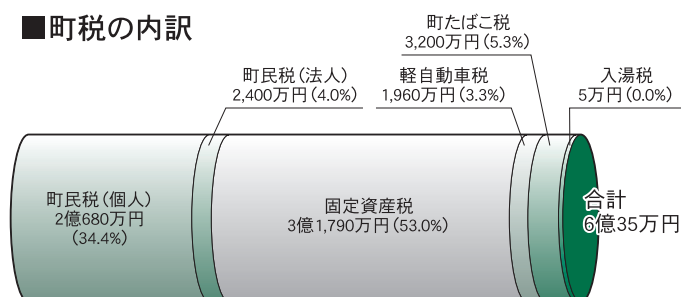
## ■一般会計当初予算の推移



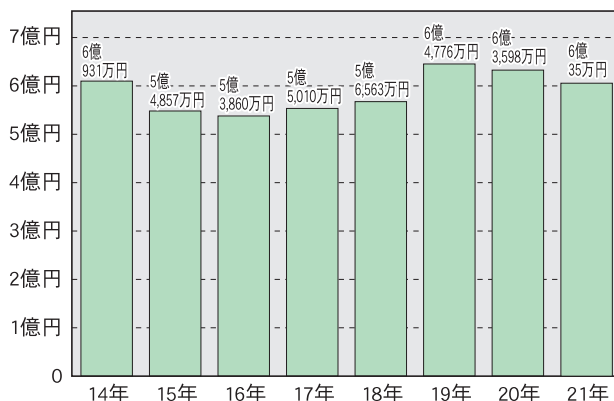
## ■特別会計・企業会計当初予算



## ■町税の内訳



## ■町税当初予算の推移



# 町職員 人事



町長 鈴木 浩幸  
副町長 富樫 清志  
教育長 安藤 昭郎

## 三役

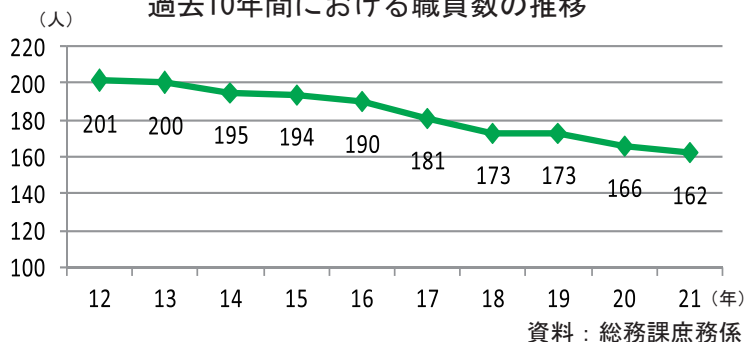
● 総務課 13人  
課長 熊谷 貞則  
課長補佐 白田 久寿  
課長補佐 大谷 武一  
課長補佐 西田 和之  
● 行革推進係  
係長(兼) 白田 久寿  
● 庶務係  
主任 高取のぶ子  
主事 菊地早百合  
● 地域振興係  
係長 長岡 昭博

4月1日付けで町職員の人事異動が行われました。  
平成21年度は、昨年策定された「第5次朝日町総合発展計画」の2年目にあたります。この基本目標に掲げた「この町に住みたい、ずっと住み続けたい、そんな魅力ある朝日町」の実現に向け各分野ごとに職員が配置されています。

今年度は新たな課・係の設置や統廃合といった組織改編はありません。新規採用は2人(県との人事交流職員を除く)で、職員数全体では前年度比4人減の162人となります。  
なお、近年は平成17年度に策定した「朝日町集中改革プラン」に基づく定員計画により、職員数が著しく減少している一方、めまぐるしく変化する国の制度への対応等、業務の幅が広がっています。

今後も「最小の経費で最大の効果」を上げるべく、なお一層効率的な行政運営を展開していく考えです。

過去10年間における職員数の推移



● 政策推進課 8人  
課長 清野 直治  
課長補佐 橋間 友則  
課長補佐 渡辺 政一  
主査 松田 勝美  
● 定住・戦略推進係  
係長 工藤 和久  
● 地域情報係  
係長(兼) 橋間 友則  
主事 海野 裕喜  
主事 佐久間 淳  
● 地域振興係  
係長 阿部 忠之

## 政策推進課 8人

● 選挙管理委員会  
書記長(兼) 熊谷 貞則  
書記(兼) 白田 久寿  
書記(兼) 高取のぶ子  
書記(兼) 菊地早百合  
書記(兼) 長岡 昭博

● 防災係(危機管理担当)  
係長(兼) 大谷 武一  
主任 伊藤 雅樹  
● 財政係(行政評価担当)  
係長 阿部 正文  
主任 小野 康仁  
● 管財係  
係長(兼) 西田 和之  
用務員 近衛美智永  
業務員 清野 典子  
● 県地域政策課へ派遣  
主任 阿部 正樹

● 健康福祉課 17人  
課長 阿部 則雄  
課長補佐 阿部 喜栄治  
課長補佐 佐竹 長司  
● 福祉係  
係長 小関 典子  
主事 伊藤 博美  
主事 長岡 季代

## 健康福祉課 17人

● 戸籍年金係  
主任 柴田 智子  
主任 五十嵐真理子  
主任 猪倉 薫  
主事 生活環境係 畑 英俊  
● 生活環境係  
係長 畑 英俊

● 税務町民課 12人  
課長 鈴木 康宏  
課長補佐 井上智恵美  
課長補佐 柴田 智子  
主査 長岡 利光  
● 税務係  
係長(兼) 井上智恵美  
主任 鈴木 高敏  
主任 鈴木 直美  
主任 伊藤 淳  
主任 近衛 智之  
主任 阿部 祐子

● わかば保育園 4人  
園長 大井 恵子  
副主査(保育士) 菅井 睦子  
保育士 小関 幸子  
調理師 安藤 孝子  
● ふたば保育園 3人  
園長 白田 清子  
副主査(保育士) 菊地 千代  
調理師 鈴木 和子  
保育士 白田 清子

## 健康推進係

主査兼係長 今野 智子  
副主査(保健師) 加藤 静代  
副主査(保健師) 佐竹 文子  
主任(保健師) 太田 律  
保健師 木村 朋恵  
管理栄養士 古瀬久美子  
業務員 熊谷 由香  
● 地域包括支援センター  
主査兼係長 村山 敏子  
● 子育て支援係  
係長(兼) 佐竹 長司  
主任 藤沢 美子  
● 保険給付係  
係長 齊藤ひとみ  
主事 熊谷 忍  
● さゆり保育園 8人  
園長 阿部 幸子  
係長(保育士) 松田 敬子  
副主査(保育士) 熊谷三枝子  
保育士 本間 真紀  
保育士 佐藤 弘美  
保育士 村井美恵子  
保育士 和田みよし  
調理師 渡辺真由美

# ●平成21年度のまちづくりと予算

## 産業振興課 11人

農 林 係 (67) 2114  
商工観光係 (67) 2113

課長 川口 幸男  
主幹 菅井 和広

課長補佐 清野 雅英  
課長補佐 三浦 浩一

農政係 鈴木 勝  
主任 佐竹 秀文  
主任 海野 淳  
主事 白田 恭子

産業創造係 早坂 健一  
係長 佐藤 修  
主任 岡崎 国宏

商工観光係 佐藤 修  
主任 岡崎 国宏

## 農業委員会 2人

事務局長(兼) 川口 幸男

農地調整係 菊地 洋一  
主査兼係長 佐竹 敏子

業務員 佐竹 敏子

## 建設水道課 10人

建設係 (67) 2115  
水道係 (67) 3570

課長 鈴木 清  
課長補佐 長岡 典己  
課長補佐 阿部 弘美

課長補佐 阿部 弘美

## 管理係

係長(兼) 阿部 弘美  
主任 鈴木 滝子  
主任 伊藤 真一

整備係 鈴木 良浩  
係長 鈴木 繁幸

水道係 鈴木 俊治  
主査兼係長 安藤 正人  
主事 今井 一成

## 町立病院 46人

(67) 2125

院長(内科) 小林 達  
副院長(外科) 櫻井 文明  
副院長(内科) 高橋 潤

医 長(内科) 金田 卓也  
事務長 安藤 一夫  
総看護師長 長岡 浩子

外科外来主任 佐藤久美子  
外科外来主任 児珠はつえ  
内科外来主任 若月 裕美  
看護師 布施 智子  
看護師 卯野留美子

看護師 大泉かおり  
看護師 鈴木 弘子  
看護師 長岡ひとみ

看護師 鈴木 恵美子  
看護師 白川由美香  
看護師 大江 一子

看護師 鈴木 幸代  
看護師 鈴木 正子  
看護師 鈴木美保子

看護師 瀬尾美智子  
看護師 大竹 由理  
看護師 野口小夜子

看護師 長岡 千恵  
看護師 水戸部友子  
看護師 小野 晶子

## 病棟

看護師長 鈴木 恵美子  
看護師 白川由美香  
看護師 大江 一子

看護師 鈴木 幸代  
看護師 鈴木 正子  
看護師 鈴木美保子

看護師 瀬尾美智子  
看護師 大竹 由理  
看護師 野口小夜子

看護師 長岡 千恵  
看護師 水戸部友子  
看護師 小野 晶子

看護師 渡辺 美香  
看護師 長岡 史織  
看護師 武田 清華

看護師 舟山 舞  
看護師 鈴木 綾子  
看護師 佐藤かおり

看護師 近衛こずえ  
看護師 佐藤みどり  
看護師 関根 愛

在宅医療相談室 佐藤みどり  
在宅主任 関根 愛

薬局 今井 聡美  
薬剤師 今井 聡美

X線室 菅浦 潤司  
技師長 菅浦 潤司

療養室 清野 敏秀  
作業療法士 伊藤 彩  
理学療法士 阿部 忍

検査室 岡崎まゆみ  
技師 荒木美耶子

## 給食室

管理栄養士 村山 智美

事務室 佐藤 敏行  
事務長補佐 佐藤 敏行

庶務係 佐藤 敏行  
係長(兼) 佐藤 敏行

医事係 阿部 容一  
主任 阿部 容一

局長補佐 堀 幸雄  
庶務係 堀 幸雄

係長(兼) 堀 幸雄

## 監査委員会

書記(兼) 堀 幸雄  
書記(兼) 堀 幸雄

## 出納室 2人

室長(兼) 長岡 信之  
出納係長 齋藤 文子

会計管理者 長岡 信之

室長(兼) 長岡 信之

室長(兼) 長岡 信之

## 教委 教育文化課 11人

学校教育係 (67) 3302  
生涯学習係 (67) 2118

課長 若月加代子  
主幹 奥山 勝弘

課長補佐 佐竹 壽美  
課長補佐 花山 護

学校教育係 長岡 勉  
主査兼係長 伊藤 由佳

教育研究所 伊藤 由佳  
事務局長(兼)奥山 勝弘

生涯学習係 高橋さだ子  
係長 高橋さだ子

主任 安達 和史  
主任 白田 征治  
主事補 和田 冴子

業務員 鈴木 敏一

西部公民館 2人  
主査兼館長 花山 芳文  
業務員 白田 京子

北部公民館 2人  
主査兼館長 長岡 浩利  
業務員 阿部 玲子

西五百川小学校 3人  
用務員 滝川 芳巳  
調理師 佐竹 幾子  
調理師 熊谷 尚子

宮宿小学校 3人  
調理師 熊谷 尚子

宮宿小学校 3人

用務員 長岡 元広  
調理師 松田 篤子  
調理師 白田 幸子

大谷小学校 3人  
用務員 渡辺 忍  
調理師 遠藤 房子  
調理師 滝川 久恵

朝日中学校 1人  
用務員 阿部 歩

新規採用者 (4月1日付)  
事務職員 工藤 和久  
事務職員 猪倉 薫  
事務職員 和田 冴子

退任者 (3月31日付)  
副町長 高橋 康則  
退職者 (3月31日付)  
政策推進課長 富樫 清志

議会事務局 成原 孝一  
さゆり保育園長 海野優恵子  
わかば保育園調理師 武田クニ子

町立病院病棟主任 安藤由紀子  
出納室主任 片山 麻未  
政策推進課係長 千野 武雄

政策推進課係長 千野 武雄

政策推進課係長 千野 武雄

政策推進課係長 千野 武雄

政策推進課係長 千野 武雄

政策推進課係長 千野 武雄

政策推進課係長 千野 武雄

政策推進課係長 千野 武雄

については、異動（新採）もしくは昇任した職員です



# 3月定例議会

3月5日から12日まで8日間の日程で町議会3月定例議会が開催されました。

平成20年度各種会計補正予算、および平成21年度各種会計当初予算、3月に入居が開始された「蔵ハイツ大町」に関連する各種条例の制定に関する議案などが審議・可決（承認）されたほか、3月をもって退任した高橋康則氏に代わって、副町長に前政策推進課長の富樫清志氏（元町）を選任しました。

一般質問もここ数年間で最多となる8人の議員が演壇に立ち、多岐にわたる分野について質問と主張が展開されました。



## 町政報告

■1億4000万円を超える効果 集中改革プラン平成20年度実績

平成17年度に策定した朝日町行財政改革大綱実施計画「集中改革プラン」。今年度の改革効果額は1億4166万8千円（計画額1億3055万円）。

### ■賀詞を贈呈

本年めでたく米寿を迎えられた67人と100歳以上の長寿者9人に対して、1月8日、長寿を祝い、賀詞を贈呈した。

### ■多くの方々が利用 インフルエンザ予防接種助成事業

65歳以上高齢者のインフルエンザ予防接種助成事業については、1月末現在1591人（前年比6人増）が接種。

## 寄付採納報告

■金員50,000円（ふるさと納税として）

東京都江戸川区 島崎 聡子 様

■金員50,000円（ふるさと納税として）

神奈川県足柄下郡真鶴町 伊藤 邦博 様

■金員100,000円（ふるさと納税として）

※住所・氏名等は寄付者本人の希望により公表しません

また、18歳以下の子どものインフルエンザ予防接種助成事業についても、349人（前年比20人増）が接種を受けており、重症化防止につながっている。

### ■単価が2割〜3割安 かつてない厳しい状況に 平成20年産りんご

豊作であったことや、世界的な不況の影響で購買力が低迷。単価が2〜3割下がり、

かつてない厳しい結果になった。

この危機を乗り切るため、3月3日にりんご生産者大会を開催。市場の情勢等を分析するとともに、生産者同士の情報交換を行い、生産意欲の高揚を図った。

### ■海外では安定した取引 りんご海外輸出事業

今年はシナノスイート、シナノゴールド、王林、秋陽及びふじを台湾、タイ、香港に輸出。量は今年の20tから約37tへ大幅に増やし、安定した価格で取引された。

また、台湾での旧正月のセールのため、1月17日に高級百貨店で町長によるトップセールスを実施。また、2月9日から職員をタイに派遣し、輸出货量拡大に向けたマーケット調査を実施した。

### ■雇用・経済の悪化が町内企業にも波及

世界的な金融危機に端を発した経済及び雇用状況の急激な悪化が、町民生活や企業経営にも影響。町内においても派遣社員等の雇い止めが発生しているほか、休業日を増やす企業も出てきている。

## 平成20年中の火災による損害額はゼロ

平成20年の1年間において町内で発生した火災の件数は2件。いずれも軽微なもので、損害額はありませんでした。

これはまさに、消防団員の方々の予防消防活動と、町民の方々の高い防火意識の賜物と言えます。この「損害額ゼロ」の記録が末永く続くよう、今後も町民一人ひとりの「火事を出さない」心がけをお願いいたします。



4月26日の春季消防演習に向け訓練に励む消防団員



# 新副町長に富樫清志氏



## 就任のあいさつ

副町長  
富樫 清志 (56歳／元町)

昭和46年4月 役場奉職  
平成15年10月 企画課長  
16年10月 総務課長  
19年4月 政策推進課長  
21年4月 副町長就任

浅学菲才の私が身の丈を省みず、副町長という大役をお引き受けすることになりました。専心誠意努力を重ね微力ながら、鈴木町長の目指す「いつの時代も自身と誇りを持ち、住みたい、住み続けたい魅力ある町づくり」の実現のため尽力して参りたいと決意を新たにしております。

昭和46年に役場に奉職させていただいて38年が経過しましたが、これまで多くの町民の方々や諸先輩からご指導をいただいたことを心の糧とし、これまでの経験を可能な限り職務に活かしていきたいと思っております。また、多様化する行政ニーズに対応すべく、職員一人ひとりが持てる力を十分発揮できる職場環境づくりにも努めてまいりたいと思っております。

世界的な同時不況という極めて厳しい社会経済状況下にありますが、1日も早い景気回復を願うとともに、町民のみなさまのこれまで以上のご指導、ご鞭撻のほどを心からお願い申し上げ就任のあいさつとさせていただきます。



## 退任のあいさつ

前副町長 高橋 康則

平成19年4月朝日町の初代副町長に就任してから、早いもので2年が経ちました。

この間、皆様方のご指導、ご支援を賜りながら、第5次朝日町総合発展計画の策定、子育て支援拠点施設の整備に携わらせていただきました。町民の皆様の身近な課題、現場に密着した仕事等県庁ではできない貴重な経験の数々。今後様々な場面で活かしてまいりたいと思います。

2年間の朝日町での仕事、生活は新たな発見や感動の毎日でした。朝日連峰の裾野を流れる最上川、その河岸段丘に広がるりんごと稲、朝日町の先人が築きあげ、磨き上げながら引き継がれてきた文化です。これらは私にとって、心を癒してくれる素晴らしいものでした。また、全国に知られるりんごや木工の技術、毎年コンクールで入賞するワインなど、農業というもののづくりを含め朝日町には素晴らしいもののづくりの文化があります。

これらの文化は、大きな光を放つものではまだないかもしれませんが、キラッと輝く朝日町にしかないものです。これらがきっとこれからの朝日町の発展の礎になるものと思います。

4月から県庁で商業振興関係の仕事に就きますが、朝日町が輝きを増し続け、発展し続けることを祈念し、退任のあいさついたします。ありがとうございました。

## ■20%プレミアム付きお買い物券を販売

緊急経済活性化策として商工会と連携し、20%プレミアム付き「お買物券」2000セット・2400万円分を販売。一週間程度で完売し、今後の町内商店街活性化が期待される。

## ■起業支援を実施中

地元の生活協同組合との共同開発で食肉加工品を新たに商品化し販売を開始したほか、仙台市内のセレクトショップにも果実加工品が定期的に流通。経営安定化のための支援を継続している。

また、仙台との交流拡大による新たな流通形態を確立するため、山村資源を活用。調査、企画を行い、今後関係を進展させていく。



4/22~27  
仙台駅前のさくら野百貨店で起業家の商品の即売会が開催される

## ■大沼分校は公民館に活用

平成21年3月をもって閉校した大沼分校。今後は地元の要望を受け、校舎の一部が大沼区の公民館として利用される。

## ■それぞれの学び舎を巣立つ

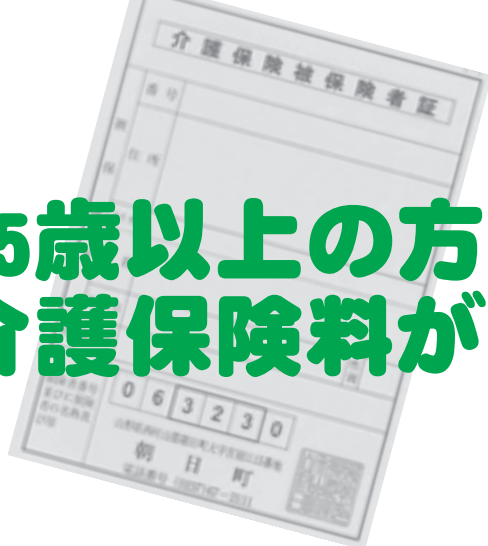
平成20年度の小学校卒業生は75人、中学校卒業生は86人。

それぞれが学び舎を巣立つ。

## ■平成21年度内の立ち上げを目指す 朝日町総合型地域スポーツクラブ

今年度内の設立に向けて、昨年度準備委員会を開催。健康面を重視した一人1スポーツに力点を置きながら推進していくこととしている。

# 65歳以上の方の介護保険料が引き上げになります



介護保険料は、3年を1期とする町の介護保険事業計画に基づき決められます。それに伴い、平成20年度に全国一斉に見直しが行われました。町では平成21年度から平成23年度までを計画期間とする第4期介護保険事業計画を策定し、保険料が決定されました。

保険料は、介護保険制度の改正や、これまでの介護保険サービスの利用状況を踏まえ決定されます。町では高齢化の進展に伴い、今後も介護サービス利用者は増加し、3年間の介護保険サービス費についても増加傾向が続くものと推計しています。国からの財政支援や町の基金を取り崩す等、保険料の抑制に努めたところですが、65歳以上の方の保険料を引き上げざるを得ない状況です。新たな保険料は、7月に郵送する「平成21年度介護保険料納入通知書」でお知らせいたします。

## ■保険料上昇の主な理由

- ① 国の制度改正により、65歳以上の方の介護保険サービス費に対する負担割合が引き上げられたこと。  
(19%→20%)
- ② 介護従事者の低賃金等処遇改善のため、介護報酬が3%引き上げられたこと。
- ③ 第3期計画期間中（H18～H20）におけるサービス基盤整備拡充（ふれあい荘ショートステイ・デイサービスの増床、民間事業者によるグループホーム・小規模デイサービスの開設、町立病院通所リハビリテーションの開設）に伴い、介護サービスの利用が増加していること。

■問合せ先 健康福祉課福祉係 ☎67・2156

65歳以上（第1号被保険者）の所得段階区分別介護保険料（平成21年度～平成23年度）

| 区 分                  |                                                                 | 月額保険料                |                      |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------|----------------------|----------------------|
|                      |                                                                 | 改定前                  | 改定後                  |
| 第1段階<br>基準額×0.50     | 生活保護又は、世帯全員が住民税非課税で老齢福祉年金を受けている方                                | 1, 825円<br>(21,900円) | 2, 105円<br>(25,260円) |
| 第2段階<br>基準額×0.50     | 世帯全員が住民税非課税で、前年の合計所得金額と課税年金収入額の合算額が80万円以下の方                     | 1, 825円<br>(21,900円) | 2, 105円<br>(25,260円) |
| 第3段階<br>基準額×0.75     | 世帯全員が町民税非課税の方で、第2段階以外の方                                         | 2, 740円<br>(32,880円) | 3, 160円<br>(37,920円) |
| 第4段階(特例)<br>基準額×0.87 | 世帯の誰かに町民税が課税されているが、本人は町民税非課税の方で、前年の合計所得金額と課税年金収入額の合算額が80万円以下の方  | 3, 650円<br>(43,800円) | 3, 665円<br>(43,980円) |
| 第4段階 基準額             | 世帯の誰かに町民税が課税されているが、本人は町民税非課税の方で、前年の合計所得金額と課税年金収入額の合算額が80万円を超える方 |                      | 4, 210円<br>(50,520円) |
| 第5段階<br>基準額×1.16     | 本人が町民税課税で、前年の合計所得金額が125万円未満の方                                   | 4, 565円<br>(54,780円) | 4, 885円<br>(58,620円) |
| 第6段階<br>基準額×1.25     | 本人が町民税課税で、前年の合計所得金額が125万円以上200万円未満の方                            |                      | 5, 265円<br>(63,180円) |
| 第7段階<br>基準額×1.50     | 本人が町民税課税で、前年の合計所得金額が200万円以上の方                                   | 5, 475円<br>(65,700円) | 6, 315円<br>(75,780円) |

( ) 内の金額は年額です



## 山形県からの人事交流職員が交替しました

よろしくお願いします

政策推進課  
定住・戦略推進係長

工藤 和久

4月から政策推進課に配属されました工藤です。お隣山辺町から通っています。3月までは県庁の人事委員会事務局で県職員の給与制度を担当しておりました。

朝日町には、お酒を飲みたくなってワイン城、お風呂に入りたくなってりんご温泉、ダチョウを見たくなくて展示園等々訪れた回数は数えきれません。県職員から町職員として、より地域の住民の方に近い業務に携わることになり、今後は町のために少しでも役に立つことが出来ればと思います。

まずは町内の地理を覚えたいと思います。お見かけの際は気軽に声を掛けていただければ幸いです。よろしくお願いします。

## お世話になりました

政策推進課  
〈前〉  
定住・戦略推進係長

千野 武雄

4月1日付で県の職場に復帰いたしました。振り返るとあっという間の2年間でしたが、県の職場ではできない数々の貴重な経験をさせていただきました。

例を挙げると、第5次朝日町総合発展計画の策定や、町の若者グループ「アットホーム」の皆さんとのイベント開催、そして「あさひ未来塾」など。どれも形のないものからはじめる仕事でしたが、やりがいのあるものばかりで、今後の発展・成長がとても楽しみです。

現在は県庁の中で商工関係の予算を担当しています。この町で学んだことを活かし、少しでも朝日町に恩返しできるよう頑張っていきたいと思っています。2年間、本当にありがとうございました。

## 民の発想で観光交流を推進 観光振興推進員を配置

朝日町観光協会では、4月1日より「観光振興推進員」を配置しました。

同協会は町産業振興課内に事務局を置き、町職員が業務を兼ねていますが、民の発想を取り入れた観光交流を推進していくため専従職員を配置し、体制の強化を図ったものです。

観光振興推進員に就任した亀井秀介<sup>しゅうけい</sup>さんは、「朝日町は自然、食、そして何よりも人の心が豊かなところ。そんな町が人をひきつけずにはいられないはず。赤湯で育った私ですが、ご近所目線でその豊かさを発信し、町の元気につなげるお手伝いができれば幸いです。まだまだ勉強中の身ですが、よろしくお願いします。アフター5のお誘いも含めて・・・(笑)」と抱負を語ってくれました。

◆プロフィール 亀井秀介 南陽市生まれ 41歳（現在は大町在住）  
青山学院大学卒業後、18年間航空業に携わり世界約30カ国を訪れる。  
趣味はスキューバダイビング。ソムリエの資格を持つワイン通



## いつも明るく前向きに

## プラス思考で行こう

ある国に行った二人の靴屋さんの話。二人が行ったその国の人たちは靴をはいていませんでした。一人はこうつぶやきました。「この国の人は、誰一人靴をはいていない。靴をはく文化も習慣もないようだ。このような国では靴が売れる見込みはないだろうな」。もう一人は目を爛々させて、こうつぶやきました。「この国の人は誰も靴をはいていない。ということは、この国の全ての人がお客様になる可能性がある

ということか。よし、がんばって、ガンガン靴を売るぞ」。物の見方、視点の置き方で、まるで違う発想、考え方になるという、たとえ話です。ではいったい、この発想の違いはどこから来たのでしょうか。浜松医科大学の高田明和先生の「私たちの脳は、意欲の方向に働きを変える」と言う言葉の中に、その答えがあるように思われます。先生は、脳梗塞になった人の例を

前向きな言葉や態度が  
積極的な思考をつくる

挙げ、「もう一度話ができるようになりたい」「手足を自由に動かせるようになりたい」という本人の「強い意志」により、たとえ困難と思われることでも、人間の脳はそれを克服していくとする方向に進み、言語・運動機能の快復形成につながって行くのだと教えています。どの方向に自分の気持ちを持つのか。「できない」「だめだ」と思っているのか、「よしやってみよう」「がんば

ろう」と前向きに物事を考えるのか。重要なのは「気持ちの持ち方」であると思います。

「明るく前向きな気持ち」を抱き続けていくためには、常日ごろからの、態度や言葉使いが重要です。きびきびとした爽やかな明るい態度。そして前向きな肯定的な言葉遣い。これらが人間を積極的で前向きな考えにし、明るく朗らかな気持ちにしてくれます。そこに明るく前向きな世界が広がって来るのです。

朝日町長 鈴木 浩幸



# 地域とともに歩んだ 134年の歴史に幕

## 大谷小学校大沼分校閉校記念式典

3月22日大谷小学校大沼分校の閉校記念式典が執り行われ、134年にわたる歴史に幕が下ろされました。  
式典には最後の在校生3人のほか、地域の方々、卒業生、歴代の教師など約180人が出席。同校の歴史を刻んだ記念碑の除幕式や「思い出を語る会」も開催され、名残惜しみながらも学校に別れを告げました。



この校舎で歌う校歌もこれが最後 それぞれがいろいろな想いをかみしめながら歌いました



約180人が出席しました



最後の在校生となった3人



134年の歴史を刻んだ記念碑







大沼分校と言えば「浮島太鼓」 会場いっぱい強い鼓動が響き渡りました



昨年卒業した3人がサポートで加わりました



昔のアルバムを目にし、思わず「懐かしい」の言葉が…



分校の文集「うきしま」



久々の再会 記念に一枚

## もう一つのお別れ… 旧立木小「あとリエマサト」 で卒業式

旧立木小学校に住み込み、創作活動を行っていた芸術家グループ「あとリエマサト」の板垣敬子さん。このほど、ご自身の結婚を機に立木を離れることとなり、これまでの活動の区切りと感謝の意を込め、「あとリエマサト」卒業式が行われました。

平成17年6月から3年10か月という滞在の中で、町内の様々な場面で活躍されてきた板垣さん。当日は立木地区の方々をはじめ、これまで交流のあった方々約50人が出席。華やかな飾り付けや卒業式の定番「呼び掛け」なども行われ、手作りの温かい雰囲気の中、新たな門出を祝福しました。

なお、板垣さんと一緒に活動していた田中敦子さんも今回立木を離れることとなりますが、「あとリエマサト」としての芸術活動は今後も継続される予定です。



地元立木地区の方々も多数訪れました



校長先生(?)から卒業証書が授与されました

先人が築いた豊かさの上にあぐらをかき、文明の利器に五体を預け、気付けば痩せた土のような自分。4年前、私は朝日町で「子ども」をやりなおしたいと思いました。

小難しい理論を語る前にとくに身につけておくべきだった、元素的な美しさやたくましが朝日町のいたるところにありました。例えば春がこんなにも嬉しいということは、立木で暮らしてみてもはじめて実感したことです。そして「家族」の大切さもあり。気付かせてくれたのはお世話になった皆さんです。

ありがたいことに縁あってお嫁にいくことになりました。これまで大変お世話になりました。ですが正直なところ朝日町に未練たっぷりです。まだまだスカスカの私なのです。これからも頼りにしております。

平成21年3月 板垣 敬子





新しい通園バス

# まちの話題

ここで紹介した情報以外にも、ホームページ内「まちの写真館」には写真がいっぱい。見てね！



わかば保育園

2009日本カヌーフリースタイル選手権大会（4月5日／栗木沢カヌーランド）

## 世界選手権派遣選手選考会も兼ねる大会 昨年の同大会入賞者も出場



4月5日栗木沢カヌーランドで「2009日本カヌーフリースタイル選手権大会」が開催されました。

「フリースタイルカヌー」とは「ウェーブ」と呼ばれる波の立つ場所や「ホール」と呼ばれる流れの落ち込む場所などで、カヌーのコントロールを

楽しむ競技。次回のロンドンオリンピックではエキシビション競技として、その次からは正式種目として採用されることが決定しています。

栗木沢カヌーランドは、それらの良好なスポットが自然の地形で出来上がっており、愛好者によれば「日本全体で見ても、最も安定感のある波ができる場所」と言われています。また、そういった自然条件に加え、トイレ、更衣室、駐車場といった設備も充実し

ていることから、この度本大会が初めて開催されました。

競技は45秒間の中でできるだけ波の中にとどまり、様々な技を繰り出してその得点を競うもの。水中に潜って回転するなど難易度の高い技が繰り出されると、大きな歓声が上がっていました。

今回は「2009カヌーフリースタイル世界選手権派遣選手選考会」も兼ねる大会で、昨年の世界選手権6位入賞者も含め28人が参加しました。駐車場の車のナンバーを見ると、「練馬」「福井」「島根」「土浦」「札幌」「京都」など、全国各地から愛好者が参集し、早春の朝日町に賑わいをもたらしてくれました。



激流の中で技を競いました

町内小中学校で入学式（4月7日／町内各小中学校）



笑顔の入学式（宮宿小）

## 新たな学校生活への期待に胸を膨らませる

4月7日町内の小中学校4校で一斉に入学式が行われ、それぞれの新入生（西五百川小12人、宮宿小30人、大谷小22人、朝日中75人）が希望を胸に新たな学び舎の門をくぐりました。

そのうち、宮宿小学校（長岡信悦校長）では、真新しい洋服に身を包んだピッカピカの1年生が大きなランドセルを背に、両親に手を引かれ初登校。式典では校長をはじめとした関係者の祝辞のあと、新2年生による歓迎の言葉を受け、新たな学校生活への期待に胸を膨らませました。

一方、朝日中学校（遠藤康男校長）では、合唱等による上級生の歓迎に対し、長岡朗くん（太郎三）が新入生代表であいさつ。新たな教科や部活動への意気込みを熱く語りました。



意気込みを語る  
長岡朗くん





平成21年(2009年)  
■ 3月1日～3月31日届出



## すこやかに

| 区 名 | 出生児氏名   | 性別 | 保護者名   |
|-----|---------|----|--------|
| 新 宿 | 佐 藤 羽 華 | 女  | 亮二・恵理香 |
| 助ノ巻 | 海 野 真 穂 | 女  | 康典・美恵子 |
| 常 盤 | 川 越 咲 来 | 女  | 修・裕美   |



## やすらかに

| 区 名   | 死亡者氏名   | 世帯主名 |
|-------|---------|------|
| 前田沢   | 齋 藤 シゲヨ | 武 利  |
| 送 橋   | 相 座 キ エ | 正 喜  |
| 沼 向   | 菅 井 徳四郎 | 本 人  |
| 八ツ沼   | 佐 竹 房 吉 | 孝 幸  |
| 大谷五   | 白 田 よ の | 本 人  |
| 八ツ沼   | 阿 部 正 見 | ハナ子  |
| ふれあい荘 | 宮 林 つと  | 本 人  |

## 人口と世帯数

平成21年3月31日現在 ( ) 内前月比

|     |              |
|-----|--------------|
| 人口  | 8,304人 (-36) |
| 男   | 4,118人 (-15) |
| 女   | 4,186人 (-21) |
| 出生  | 3人           |
| 転入  | 34人          |
| 死亡  | 7人           |
| 転出  | 66人          |
| 世帯数 | 2,537世帯 (-6) |

## 各種大会の成績 (丸数字は順位)

### ■第15回朝日町剣道選手権大会 (3月15日／大谷小体育館)

①鈴木聡 (本町) ②大井次郎 (本町) ③池田秀和 (大谷五) ③和田哲生 (大谷四)

### ■第42回町民バドミントンフェスティバル (3月29日／朝日町民体育館)

▼団体戦Aブロック①東根バドBブロック①朝日BC Cブロック①チーム538

▼個人戦オープンダブルス1部①滝田・尾形組同2部①高橋・石塚組レディースダブルス①古賀・斉藤組

## 庁舎1階町長室が2階へ統合されます

「町民の目線に立った町政運営」のため、平成17年4月庁舎1階に設置された町長室がこのほど2階町長室へ統合されることとなりました。

役場では平成19年4月より、一つの窓口ですべての用務が済ませられるよう「総合窓口」を設置し、住民サービスの向上に努めてきました。今回、設置から2年が経過し、総合窓口をはじめとした1階職員配置の見直しを行ったところ、町長室スペースの有効活用が必要不可欠とされたことから、2階への統合が決定しました。

今後は町長を身近に感じることができる別の方法として「町長と語ろう」の拡充などを検討していきます。



1階の町長室

## 児童の安全確保 交通安全指導員を配置

登校時の児童生徒の安全確保のため、このほど交通安全指導員として小野隆弘さん (大谷六)、伊藤吉正さん (大町) が町より任命されました。

朝は通勤ラッシュで交通量が多い国道287号線。中でも見通しの悪い真中茶屋前交差点と、横断者の多いコメリさん前交差点において安全確保策が要望されて

いたのを受け、今回指導員が設置されました。

7日の新学期初登校以来、真中茶屋前には小野さんが、コメリさん前には伊藤さんが、それぞれの交差点に立ち、安全確保に努めています。



交差点で安全確保に努める小野隆弘さん

## 上郷ダムの恩恵 電源立地地域対策交付金

電源立地地域対策交付金は、発電用施設が所在する市町村に対して、公共用施設整備や住民福祉向上のために行う事業に交付金を交付するものです。

平成20年度は1,100万円余りが交付され、町道三中線 (長沼)、町道前小路線 (太郎) の修繕工事と、さゆり保育園乳幼児保育事業に取り組みました。



側溝整備施工前

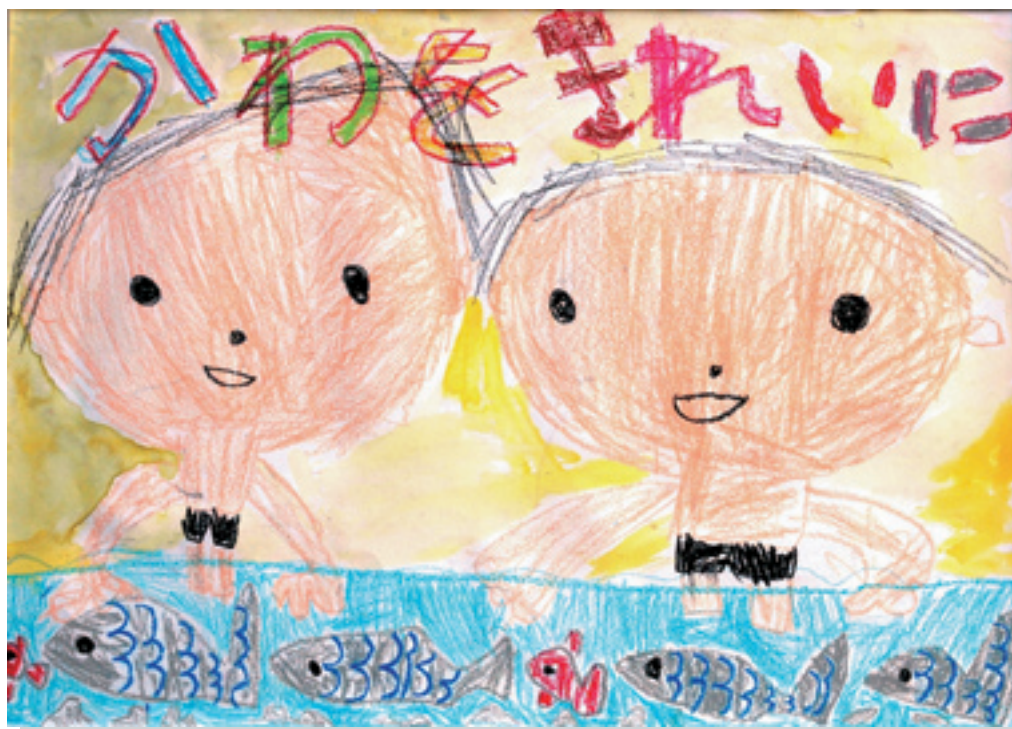


施工後

町道前小路線 (太郎)

# わたしの作品

平成20年度「川をきれいにする」児童画  
ポスターの部 金賞受賞作品



會田 翼くん  
(宮宿小学校2年／元町)

このコンクールは、川で遊ぶ機会の少なくなった児童の皆さんに、川をきれいにすることを心がけていただこうと、  
(※) 最上川水系水質汚濁対策連絡協議会が、平成4年度より毎年実施しているものです。

17回目の今回は県内の小学校から合計3,333点の応募があり、その中で特選(2点)に次ぐ金賞(計10点)に輝いたのが本作品。翼くんは「大きく元気いっぱいに描きました。きれいな川で友だちと楽しく遊びたいです」と笑顔で語ってくれました。

(※) 最上川水系水質汚濁対策連絡協議会

最上川水系の河川について、河川水質汚濁対策に関する関係機関相互の連絡調整を図ることを目的として、昭和47年に設立された団体。国土交通省、山形県、山形県警察本部、最上川水系に所在する32市町村、東北電力(株)で構成。

春夏秋冬

編集後記

「初心」に帰り  
また1年間  
がんばります

初めての物事に直面した時、人は誰でも「緊張」を感じるものです。しかしそういった場面は大人になればなるほど少なくなっていくもの。そういう意味では、せめて気持ちだけでも「初心」を忘れないことが大切だと思いました。いろいろな取材で、いろいろな人に出会い、いろいろなことを気づかせてくれる広報の仕事。それを3年間も担当できる自分は本当に幸せ者です。  
佐久間 淳

また1年間広報を担当させていただくことになりました。3年目になりますが、よろしくお願いいたします。  
新年度に入って間もなく、宮宿小と朝日中の入学式にお伺いしました。それぞれにおいて新入生入場の場面を写真に収めました。笑顔もあれば、こわばっている表情もあり、いろいろな姿を見ることができました。  
その場に居合わせてみて改めて感じたのが「初心」の大切さ。入学式のように、何か